

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育とリハのレフティ			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～	2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2025年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との報告、連絡、相談の体制	送迎時に必ず、その日の様子と最近の状況などできるだけ詳しく情報交換を行う	連絡帳、電話、SNS等、多種多様な方法でいつでも連絡ができ、相談できるように配慮していく
2	認定こども園、保育園、幼稚園、学校との連携強化	定期的に訪問して、並行利用している施設での様子を観察 また施設側が事業所へ訪問していただき情報を共有している	頻度を増やしたり、支援方法も直接・間接支援など検討していく。また、支援できるスタッフの育成に努める。
3	スタッフ全員が有資格者であること (保育士、理学療法士、看護師、学校教諭、幼稚園教諭等)	発達支援に関する民間資格の取得 動画、セミナー、専門書籍による学習	専門性が増し、より支援の質が向上する 内部・外部でアウトプットする機会を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への研修や親子の会などイベントを開催できていない	そもそもイベント開催をする予定を立てていなかった スタッフの体制的に難しい面があった	計画的に準備をしてより多くの方に参加していただき、有意義なイベントを開催しお子さんや保護者のニーズに応えたい。
2	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症などのマニュアルを策定され、保護者に周知されていない。	契約時や訓練時に説明をしているが、説明が不十分だったのか	別途、書面でお渡しする。訓練後は連絡帳に記載(行っている)。お知らせする頻度調整、LINEでの発信、HPに掲載するなど検討していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保育とリハのレフティ					公表日	2025年 2月 6日	
		利用児童数			27	回収数		23	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	4%		4%		安全を確保した上で構成する	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	87%	4%		9%		基準配置はもちろん、安全かつ支援が十分にできる配置調整を心がけていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	96%			4%		情報過多にならないレイアウト、スケジュール表や支度表など視覚支援やパーテーションなど個々への配慮をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・清潔で広々としています。	引き続き実施する。これからも毎日掃除、整理整頓、衛生面のことも配慮した対応をしていく。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					引き続き実施する。専門性を高めるためにケースカンファレンスや研修など参加して自己研鑽している。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96%			4%		支援プログラムと相違がないか、丁寧な説明をしていく。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	4%			引き続き実施する	今後も保護者からのニーズや子どもと関わる中で見えてくる課題を個々に合わせた方法で支援する計画を作成する。	
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	4%				本人支援、家族支援、移行支援について保護者が理解しやすいように説明していく。	
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	96%			4%		引き続き実施する。丁寧に支援計画を説明し支援内容があっているか擦り合わせていく。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				・日々様々なことをして頂いています。	引き続き実施する。発達段階に合わせてチームで協議してプログラムを考えている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30%	13%	17%	39%		実施なし。 要望や必要性があれば実施する。 どのような形で活動する機会を持てるか模索していく。	
保護者 への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					引き続き実施する。これからも丁寧でわかりやすい表現で説明していく。	
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96%			4%		引き続き実施する。現在も児童発達支援計画を用いて説明しているので、継続していく。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35%	9%	26%	30%	・療育先のように充実した遊び器具がない中、日常生活の中でこんなことがトレーニングになる気づきを教えてほしい。	家族支援プログラムや研修会など場を提供はしていない。研修会を設けることを検討していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				・送迎の際に、詳しく教えてください。	引き続き実施する。できるだけ気になるときは送迎時や連絡帳、電話や面談でお伝えするようにしている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%			4%		引き続き実施する。助言ができるように普段から困り事などを引き出せるように保護者と関わっていく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				・子供の特性を理解して、支援して頂いています。	ありがとうございます。これからも保護者に寄り添い、共感を持てるように対話を大事にしていきたい。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9%	4%	48%	35%	無回答1 ・SNSで先パイのババママ情報が簡単に手に入るようになったが、やはりリアルな地域ならではの情報交換がしたい。	保護者会などの開催は今年度で開催予定です。きょうだい向けのイベントは要望があれば検討する。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	78%	9%		9%	無回答1	現状でも相談の申し入れあった場合、迅速に対応している。どこまで周知できているかわからないが、こちらから声を掛けるように心がけている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					引き続き実施する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	96%	4%				今年度の下期から保護者さまへ個別に発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					引き続き実施する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	74%	4%	4%	17%		マニュアルは作成しているが、結果を踏まえて改めて保護者への周知、説明をしていく。連絡帳やHPでも発信していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	74%	4%		22%		避難訓練は年2回実施しています。連絡帳に様子など報告しています。今後も引き続き実施する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87%	4%		9%		安全確保の計画は作成しています。今後も安全確保が十分に行われた上で支援ができていくが適宜、協議いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%	4%				事故等（怪我等）が発生した際は、緊急度を鑑み、連絡方法を選択しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				・先生の顔を見ると笑顔になるので安心できる存在なんだと思います。	引き続き、安心感をもって通所できるように一人ひとりに寄り添った対応を心掛けていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83%	17%			・最初の通い始め以降は全く通うのを嫌がらず楽しんでくれています。 ・おやつが食べられないことに未だにがっかりしています。（笑） ・行けば楽しいのですが、行くまでに不安が強くなるので、、、 ・行きはしぶしぶ、帰りはまんぞくのような感じです。	通所を楽しみにできるような「できる」活動から自信に繋げていくこと、行くまでの不安は事前に活動内容を伝えて安心感を持ってもらう工夫をする、など個別の特性に合わせた対応方法で行っています。今後も安心できる、楽しみにしていただけるような取り組みを強く意識していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%			・日々できることが増えて子供の成長を感じるので満足しています。 ・直感でレフティさんを選びましたがよかったです。特性を悲感せず笑いに変わってくれて、心が軽くなります。	まずはお子さんが満足することを考え、保護者さんのケアやサポートをします。園や学校との連携を図り、困りごとを解決して明るい未来につながる支援をしていきたいと思っています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		保育とリハのレフティ		公表日		2025年 2月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースの広さを考慮して1セッションで5名前後で行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準配置に必要な人数は配置している。また、無資格者は一人もない。	子どもの特性に合わせて、職員の配置数の変更も考慮していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	子どもにとってわかりやすいように情報量は少なめに、絵カードやスケジュールがわかるように掲示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		心地よく過ごせるように、清潔に掃除や整理整頓は毎日心がけている。手指消毒アルコールやティッシュなど常設している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	現状としては構造上は個室を用意できない。パーティションを使用して個別に対応できるような空間や場所を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	活動内容や方法、業務改善など積極的に意見を出し合う、ミーティングを設けている。	多忙になると十分な時間を取ることが難しいため、スケジュール調整をして定期的に振り返る機会を設けたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	貴重な意見をスタッフと共有しており、支援の改善につながるように協議を続けていく。	職員全体に周知して業務改善ができるように会議をする場を設ける。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		面談を年に2回も受けて、目標や課題について聞き取りを行っている。	定期的に機会を設け、スタッフの意見を真摯に受け止めて業務改善をしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	第三者による外部評価なし	今後は必要性を考え、第三者による外部評価を検討してく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部研修、外部研修を参加しており今後も積極的に機会を設けていく。専門的な書籍を揃え、アセスメントツール、障害特性や支援方法、心のケアなど学んでいる。	アウトプット(発表)する機会を増やしていきたい。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		誰が見てもわかりやすく、専門性のある内容で作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5		ニーズや課題を分析した上で、さらに2人の管理者でダブルチェックしながら作成している。		
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		責任者が中心となり、他のスタッフに聞き取りや記録を遡って情報収集を行い、全体で協議している。		
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画が完成した後にスタッフ全体へ説明し、計画に沿った支援を行うようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		数値化できる評価、数値化できない具体的な表現での評価を定期的に確認している。	全体で漏れないようにしていきたい。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		計画の作成にあたってはガイドラインの項目を参照しながら、お子さんにとって必要な支援を検討し、具体的な支援内容の設定を行っています。		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		事前にリーダーなど全員に役割を決めており、スタッフ全員で毎回立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		基本的なテーマは週替わりで変更していくが、全く同じ内容の活動は繰り返すことはない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		特性はもちろん、その日のコンディションに合わせて適宜、対応を臨機応変に支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		活動プログラム立案と同様である。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	出勤しているスタッフでは必ず打ち合わせを行っている。	勤務時間の兼ね合いで、支援の振り返りが遅れるなどタイムラグあり。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		ケース記録や面談記録、送迎時の保護者からの情報など細かく記録している。また、支援の評価、検証、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングの実施及び支援計画の見直しを行っています。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		引き続き、組み合わせた支援を心がける。	
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		選択できるようにあらかじめ活動内容など準備している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者や児童発達管理責任者が参画している。	誰がいても参加できるようにスタッフの質を向上していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		子どもに必要な社会資源や関係機関と連携を取れる体制を整えている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	地域の児童発達支援センターとの連携は相談員との情報交換はあっても、スーパーバイズや助言は受けていない。	どのような理由で受けられるのか知りたいので、まずは問い合わせたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	利用児以外の子どもと交流する機会や活動する機会は現状なし。	どのような形で交流できるのか、受け身ではなく、こちらから探していきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		口頭や書面で、子供の発達状況や課題について共通理解できるように努めている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族支援プログラムといった形は現状ない。	今後は親子で参加できる機会を設けていきたい。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		支援について方法共有と相互理解を図っている。	
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	就学前に必要な情報を提供している。	不十分なケースもあり、こちらからも連携を働きかけていきたい。
34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校利用日に利用していない。	
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要な情報を提供している。	
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	無回答 1	
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		無回答 1	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		これからも、丁寧な説明をしていく。	さらに絵や写真、図なども利用してもっと視覚的にわかりやすく、イメージしやすい工夫もしていく必要がある。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		未就学児がほとんどでなかなか、自分の意思を表出しにくい、見えにくいと思われるが、様々なツールを使用して、思いを引き出していくようにしている。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画を示しながら支援内容を説明している。同意を得てサインを書いて後日受け取っている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		最低でも全ての保護者と月1回は対面で話す場面があり、できるだけ悩みや相談を聞き取るように心がけている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	現状実施できていない。	今年度中に開催予定。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や苦情があった場合、担当者にすぐに繋げて早期に対応、解決できるように体制を整えている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的にSNS、HP等活用しており、これからも発信を続けていきたい。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		SNS等で写真や動画を載せているが、事前に許可を得ており、個人が分からないように最大限配慮している。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		対面での対話、連絡帳、電話など多様な手段で情報共有できるようにしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	事業所の行事は実施できていない。	今後、開催できるように検討していく。
非常時等の	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		スタッフ全員で送迎時や面談時に対応している。できるだけその日や最近の様子など毎回伺うようにしている。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員は入職時や訓練時に周知している。家族等に対しては契約時に説明している。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		非常災害についても定期的に訓練を行っている。	避難場所まで移動も訓練で実施していく。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	てんかん発作など既往歴は事前に情報収集している。内服に関しては連絡帳に記載事項をして表記している。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	無回答 1 食事提供なし アレルギーについては把握している。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		避難訓練を行い、定期的に避難用具や場所などを確認している。	

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画については、利用開始前に説明を徹底している。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットは作成しており、対策についても話し合っている。	全体の件数としては少なく、スタッフ間で意識を高めたい。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	入職時や年間スケジュールで研修機会を確保している。	今後はセルフチェックシートなど用いて自身の状況を振り返る機会を設けたい。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	現状、身体拘束しているケースがない。マニュアルは作成しており、いつでも対応できるように準備しておきたい。	